

【 日曜劇場“陸王”名言集 】

老舗足袋屋の社長で、衰退していく足袋業界を憂(うれ)い、会社のために足袋技術を活かした素足感覚で履けるランニングシューズを開発する新しい事業を立ち上げます。

『全力でがんばってる奴が、すべての賭けに負けることはない。いつかは必ず勝つ。』

宮沢社長の力強い言葉・・・

経営者として会社の命運をかけた様々な判断を今までしてきた社長であるからこそ説得力のある言葉です。中には失敗することもあったのではないかと思います、可能性を信じて全力で戦うことの意味を教えてください。

※ そんな経営者ばかり？ 会社の命運をかけた様々な判断もリーダーシップを発揮せず・決断力なく対応していませんか？

『リスクのないところに成長はないんだ。』

いつまでも暖かいところでぬくぬくしては確かに何も得られることはありません。リスクを取り新しいことに挑戦することが、成長と成功をもたらすことを社長は知っているのでしょう。

※ 決断力がない上に、上手くいかなかったことや問題は従業員や経済状況のせいにしていませんか？ 自分が先頭に立って、従業員を引っ張らなければ！

『ビジネスというのは、ひとりでやるもんじゃないんだな。理解してくれる協力者がいて、技術があって情熱がある。ひとつの製品を作ること自体が、チームでマラソンを走るようなものなんだ。』

組織は一人じゃ動きません。いくら社長が偉くても一人では会社は成り立たないもの。それを理解しているからこそ、4代に渡り会社が続いてきたんでしょう。「自分の会社もそうなってくれればいいのに・・・」と出世にしか興味のない職場の人間を想像する人も多いと思います。

※ ものづくりは一人の力ではできません。社長がバカでも、従業員に慕われ&会社をまとめ上げることができれば会社経営は可能です。色々な性格や個性があり、技術レベル差のある従業員個々を、如何に調整して適材適所に用い、個々の実力を最大限引き出すか！ が、リーダーの役目です。

『金儲けだけじゃなくてさ、その人が気に入ったら、その人のために何かをしてやる。喜んでもらうために、何かをする。』

人の本質を言い表した名言です。人間として好きかどうか。好かれる人間であることが一番強いですよ。

宮沢大地 (山崎賢人)

就職活動がうまくいかずに家のことを手伝う紘一の長男。マラソン足袋『陸王』の開発プロジェクトでプライドを持って働く従業員や父の姿を見て成長していきます。

『困難であろうと、これを乗り越えないことには、次に進めない。たっただら、そのために戦うしかない。時間と体力の許す限り。』

逃げることは簡単ですが、立ち向かうことの大切さを教えてくれる名言です。逃げて壁はまたやってくるんです。就活に失敗して心折れそうな状態でも、勇気を持って踏み出せるのは社長として背中を見せてきた紘一の影響なのかもしれませんね。

※ 不平不満、愚痴をこぼしてやけ酒を呑んでも、何も解決しません！

宮沢美枝子 (壇ふみ)

紘一の妻。夫の仕事を心配しながらも応援する良き妻です。就職活動に失敗した息子も暖かく包み込みます。

『いま頑張っているからこそ得られることだってあるでしょう。』

何か挑戦するときは失敗したのか成功したのかに目が行きがちですが、自分が変化し成長したということが一番大切です。成果に焦点を当てて悩んでいる方は、始めた前と今でどう自分が変化しているのか考えて見ると未来に向かうエネルギーになるかも

※ 他の人から見ても、頑張っていると映らないと意味がありません。得てして、出来ない人間程、自分は出来ていると思っています。

城戸明宏 (音尾琢真)

茂木が所属する陸上部の監督。厳しくも暖かく選手たちを見守ります。

『お前が納得できる状況は、お前の力で引き寄せるしかない。』

自分の思い通りの状況を作るのには、力が必要。そのためには努力が必要ですね。厳しい勝負の世界の真実とも言えるでしょう。

※ 正にそのとおり！ やけ酒呑む暇があったら努力しろ！

飯山晴之 (寺尾聰)

倒産した『飯山産業』の元社長。経験豊富で『陸王』が完成するのに欠かせない『シルクレイ』を作ります。

『本当のプライドってのは、看板でも肩書きでもない。自分の仕事に対して抱くもんなんだ。』

事業を自分でしてきた社長ならではの言葉ですね。会社の看板や肩書きでなく、自分と仕事が真に向き合ったときにどう判断するのか。フィルターがかからない一人間としてのプライドこそ本物と言えるでしょう。

※ 自分の仕事を他人がどう評価してくれるか？ 本当のプライドはそこである。会社の看板や肩書など何にもならない！

『人だよ。絶対に代わりが無いのは、モノじゃない。人なんだ。』

シンプルですが、響く言葉ですね。あなたの代わりは誰もいない。数字をおって、人の気持ちを顧(かえり)みないと後々後悔することになります。

※ 人材育成と技術の伝承。我々の仕事もここです。

『自分で終わりを決めるな。そんなものは単なる逃げだ。』

今は倒産してしまったものの、それは挑戦し続けたからということでしょう。自分の可能性を決めるのはいつでも自分ということですね。